

花畑広場 5 周年事業企画運営等業務委託業者選定 審査基準

花畑広場 5 周年事業企画運営等業務委託業者選定の審査基準に関し、以下のとおり定めるものとする。

1 審査方法

審査方法は、審査員が提案書を基に審査を行い、本業務の実施に最も適した事業者を選定する「プロポーザル方式」により行う。

2 審査の手順

- (1) 提案書等受付時に市街地整備課（以下「事務局」という。）にて提示金額が提案上限額以内であるかを確認する。提示金額が提案上限額を超えている場合は、その提案書は審査から除外する。
- (2) 各審査員は、提案書等の記載内容を確認する。
- (3) 各審査員は、「4 審査項目」に示した項目ごとに評価する。
- (4) 事務局は、(3)をもとに審査員ごとの各提案者の評価点数（合計）を出す。
- (5) 審査員ごとに、最も高い評価点数（合計）となった提案者に3点、2番目に高い提案者に2点、3番目に高い提案者に1点の得点を付ける。ただし、各審査員の中で同点となった者が複数者いる場合は、得点を合わせて複数者で割った数を各者の得点とする。
- (6) 事務局は、(5)をもとに各提案者の総得点を計算する。

3 受託候補者の選定

- (1) 審査の結果、総得点の最も高い提案者（以下「最高得点者」という。）を契約候補者、次点の提案者を契約次点候補者として選定する。
- (2) 最高得点者が複数ある場合は、各審査員の最高評価点（合計）を取った数が最も多い者を契約候補者とする。なお、最高評価点（合計）も同点の場合は、審査員の協議により選定する。
- (3) いずれの提案も各審査員の評価点数（合計）の総計が半数未満の場合には、要求する水準に満たないものとして候補者の選定に至らないものとする。
- (4) 提案者が一者の場合は、各審査員の評価点数（合計）の総計が半数以上であれば、候補者として選定するものとする。

【例】

		審査員1	審査員2	審査員3	審査員4	審査員5	総計
会社A	評価点（合計）	80	77	83	85	88	413
	得点	2	3	3	2.5	3	13.5
会社B	評価点（合計）	60	65	66	63	65	319
	得点	0	0.5	0	0	0	0.5
会社C	評価点（合計）	98	70	80	85	82	415
	得点	3	2	2	2.5	2	11.5
会社D	評価点（合計）	73	65	77	77	70	362
	得点	1	0.5	1	1	1	4.5

この結果、総得点が最も高い会社Aが契約候補者、次点の会社Cが契約次点候補者となる。

4 審査項目

評価項目	審査基準	評点	計数	配点
①事業遂行能力・体制	<p>本業務を確実に実施できる業務遂行能力があり、適正な実施体制を確保できるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な役割分担により責任の所在が明確になっている。 イベント等の開催内容に応じた過不足のない体制が確保できる。 本業務において実施が可能な提案である。 	5	4	20
②企画の魅力	<p>集客性が高いだけでなく、花畑広場の魅力が伝わり関心をもってもらえるような企画となっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> シンボルプロムナードを活かしたイベントが企画されている。 イベント出演者が熊本市及び花畑広場と関連がある。 周辺イベントとの連携が具体的である。 熊本地震10年関連事業との連携が具体的である。 周知広報の手法が具体的かつ効果的である。 	5	5	25
③安全・危機管理	<p>安全な運営が可能であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工程表、各業務スケジュールが無理なく実施できる提案である。 イベント規模に応じたスタッフ、案内サインの適正配置ができる。 夜間警備、事故発生時の緊急対策等の適切な対応ができる。 荒天等の自然災害発生時など、適切な対応ができる。 安全管理が十分である。 	5	3	15
④テーマ適合性	<p>花畑広場の歴史や事業の目的を理解しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業の目的を最大限に体现した提案である。 会場全体として一体感やストーリー性が感じられる空間づくり・演出となっている。 花畑広場の特性を活かした具体的かつ実現可能な演出・レイアウトとなっているか。 	5	5	25
⑤経費の妥当性	<p>経費・費目が過不足なく合理的に積算され、費用対効果が高いものであるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案内容と見積書の整合性がとれており、合理的である。 物品の調達方法により、経費の合理化が図られている。 協賛により事業経費軽減や事業効果向上の工夫がなされている。 	5	3	15
				100